

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
17101008	地域情報学の創出－東南アジア地域を中心にして－	柴山 守（京都大学・東南アジア研究所・教授）	A
<p>（意見等）</p> <p>情報学を核として、東南アジア地域を対象とする歴史学、地理学、地質学、生態学等の諸学を統合するという新しい学術、「地域情報学」の構築をめざし、ベトナム、タイなどの研究者との国際協力の下で、資料蓄積、研究遂行ならびに成果公開において成果を上げつつある点は高く評価できる。デジタルアーカイブ計画の中止など若干の計画変更も容認される範囲に止まっている。</p> <p>ただし、これまで提出された成果に見る限り、「地域研究に情報学の視点を組込む」という最重要課題が共同研究者全員に十分共有されていないように見受けられる。残された期間において、共同研究者全員の認識をさらに深めて地域研究に対する情報学的手法の浸透を図るとともに、「地域情報学」の理論構築にも力を注いでもらいたい。また蓄積されたデジタル情報の web 上での公開体制をいっそう整備することも早急の課題である。</p>			